# 4)糖尿病・内分泌・代謝内科

### 1. 診療体制と患者構成

1)診療科スタッフ

石田 均(教授、診療科長)

犬飼 浩一(准教授)

保坂 利男 (講師)

2) 常勤医師数、非常勤医師数

常勤医師:20名、非常勤医師:10名

3) 指導医、専門医数

日本内科学会指導医 : 7名 日本内科学会専門医 : 8名 日本糖尿病学会指導医 : 2名 日本糖尿病学会専門医 : 7名 日本内分泌学会指導医 : 4名 日本内分泌学会専門医 : 7名

4) 外来診療の実績

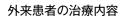
専門外来の種類:

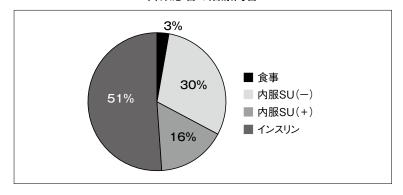
糖尿病・内分泌・代謝内科では、糖尿病・代謝内分泌学を中心に、幅広い診療を行っている。特に、糖尿病外来では医師による診療の他、糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師・薬剤師・管理栄養士などによる面接や指導を糖尿病療養指導外来において随時行っている。さらに、インスリン治療を要する患者に対して外来での導入も行っている。また、甲状腺穿刺吸引細胞診や内分学的負荷試験などは必要に応じて外来で行っている。

平成26年度 外来患者総数: 33,098名

#### 920 875 883 ...951...955... 1,000 797 900 800 690 700 -----644----554--600 496 500 400 300 200 100 17年度 18年度 19年度 20年度 21年度 22年度 23年度 24年度 25年度 26年度

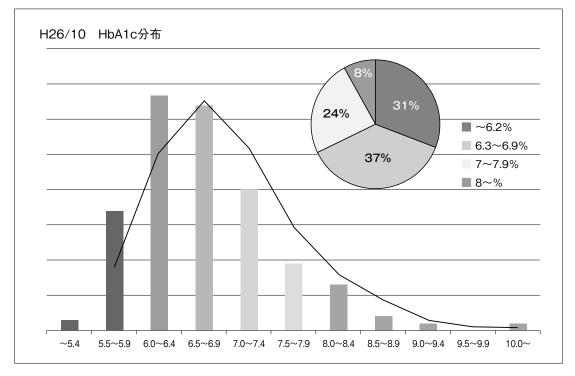
糖尿病療養指導外来 月平均利用件数





## 外来通院中の糖尿病患者のHbA1c分布

平均6.7±0.8%、中央值6.6%



#### 5) 入院診療の実績

患者総数:298名 主要疾患患者数:

> 糖尿病 : 208名 甲状腺疾患 : 5名 副甲状腺疾患 : 0名 下垂体疾患 : 15名 副腎疾患 : 14名 その他 : 56名

死亡患者数: 0名 剖 検 数: 0 平均在院日数:14.2日 稼 働 率:92.3%

#### 表

	2012年度(平成24年度)	2013年度(平成25年度)	2014年度(平成26年度)
外 来 患 者 総 数	29, 892	32, 025	33, 098
入院患者合計	254	330	298
糖 尿 病	187	197	208
下垂体疾患	1	8	15
甲状腺疾患	1	1	5
副甲状腺疾患	3	1	0
副 腎 疾 患	6	18	14
その他	56	105	56
死 亡 患 者 数	1	1	0

#### 2. 先進的医療への取り組み

MRIなどの画像診断や詳細なホルモン動態の観察により、従来は下垂体前葉機能低下症として捉えていた病態の中から、さらに上位中枢である視床下部障害によるホルモン異常症の発見や治療に積極的に取り組んでいる。

糖尿病の入院患者の一部、とくに1型糖尿病患者に対しては持続血糖測定(CGMS)、持続インスリン皮下注射(CSII)を用いた治療を行っている。(平成26年度: CGMS 70例、CSII 5 例)

#### 3. 低侵襲医療の施行項目と施行例数

特になし。

#### 4. 地域への貢献

近隣の医師を対象として、糖尿病の診断や治療に関する講演会、内分泌疾患に関する勉強会等を随 時行っている。

また、多摩地区を中心に医療レベルの向上を目的として、以下の研究・講演会活動を定期的に行っている。

- · 北多摩南部保健医療圈糖尿病医療連携検討会
- ・西東京インスリン治療研究会
- ・糖尿病 吉祥寺フォーラム
- ・東京糖尿病治療セミナー
- · 多摩視床下部下垂体勉強会
- · 多摩血管-代謝研究会
- ・武蔵野生活習慣病カンファレンス
- · Metabolic Syndrome Forum in Tokyo
- · Islet Biology 研究会
- · 多摩内分泌代謝研究会
- · Diabetes in Metabolic Syndrome 研究会
- ・日本人の糖尿病を考える会
- ・経口糖尿病薬フォーラム
- ・糖尿病三位一体セミナー
- ·西東京眼合併症研究会